

木と共に生きて

細田安治

1

木は天の恵み

細田木材工業(株)は、1931年(昭和6年)11月3日、
 殿父細田三郎が創業し、48年
 (同23年)法人に改組して現
 在に至っている。来年の11月
 3日で創業80年、法人に改組
 して63年を迎える。

会社の信条は四つある。
 一・我々は天の恵みである木
 材を社会の役にたてる使徒
 であることを自覚しその使
 命を誇りとする。
 二・我々は社業の発展と自己
 の生活の向上を目指し常に
 協力一致して事に当たる。
 三・我々は顧客には親切に製
 品は大切にそして品質第一
 をモットーとする。

四・我々は健全な精神と健康
 な生活を保持し常に安全な
 作業を心がける。

細田の創業時代の看板は東
 である。48年の法人改組で社
 名は「細田木材工業株式会
 社」となり、看板はひし形の中
 中にHMK、55年(同30年)
 以降は⑧と⑨、76年(同51
 年)に新工場移転以来、木材
 の総合メーカーとして看板は
 ⑩に統一した。
 旗幟は赤、黄、緑として、

力を發揮している会社だ。
 近年、更に付加価値を求め
 て選択と集中により、より高
 度な需要に近づく活動を
 続けている。

家族と木材界に

囲まれて

私は、いま77歳で喜寿の年
 齢に達した。家族にも恵まれ
 子供4人とそれぞれの立派な
 連れ合い、孫は9人で私と女

口は出さず、責任は取る

細田の3つの力である営業、
 生産、技術(ハード、ソフト)
 総務で固め、それぞれの
 持ち場を役割分担で総合的な

房一族総勢19人の大家族とな
 った。
 誕生日の2月15日には、祖
 父の郷里遠州浜松在の気賀周

辺をご先祖参りをする旅を兼
 ね喜寿の祝いをしてもらっ
 た。健康にも恵まれ、ごちも
 悪いところなしの幸せ者だ。
 家族には感謝の日々である。

2008年(平成20年)、
 秋の叙勲で日本集成材工業協
 同組合よりのご推薦を受け旭
 日小綬章を授かった。

私のようなものが叙勲を授
 かったことは、誠に身に余る
 光栄であり、関係諸官庁のご
 指導と業界の皆様方のお引き
 立て、社員の皆様はか関係者
 の皆様、周囲にいらつしやる
 皆様方のご支援と家族の協力
 があつたればこそと存じ、深
 く感謝申し上げます。有難う
 ございました。

公職は、08年に日本集成材
 工業協同組合、09年(同21
 年)には東京新木場木材商工
 協同組合の理事長、10年(同

22年)に全国天然木化粧合単
 板工業協同組合連合会の役員
 をそれぞれ退任した。

あとに任せた

会社は、1974年(昭和
 49年)、創業者である殿父細
 田三郎急逝の後を受けて以
 来、08年(平成20年)3月まで
 の足掛け35年間勤めた社長職
 を退き、弟細田悌治に社長を
 お願ひして会長に就任した。
 現社長の細田悌治は、海外
 経験も豊富で幅広い識見、行
 動力、強いリーダーシップの
 持ち主だ。必ずや細田木材を
 更に発展させるものと確信し
 ている。

社長退任時の決意は、どこ
 かにあるような院政はしな
 ず、「口を出さず責任をと
 る」をモットーに、次の世代
 に継承できる環境をつくるこ

とを私の仕事と考えている。
 私はいったい何を
 してきたのか

こんな時、日刊木材新聞社
 から、「木材屋のなかでも
 業界を横断した経験者として
 数少ないユニークな経歴の持
 ち主だ」という主旨で本稿執
 筆のご指示を頂いた。私は、
 業界の偉人の方々と並ぶなど
 おこがましい、浅学非才の私
 はとてもその任にあらずと固
 辞したが、「業界をまたぐユニ
 ークな経験を後世に伝える
 義務がある」などと言われ
 た。確かに後世に伝える義務
 があると言われれば、その通
 りだ。

1938年(昭和8年)に
 生をうけてから77年。戦時中
 の学童疎開、そして、戦後の
 焼け跡から立ち上がり今日ま
 で二度と来ないであろう時代
 を乗り越え、木材を通し貴重
 な体験をさせてもらったこと
 を次の世代に伝えることによ
 り、それが、少しでもお役に
 たてば、私の本懐とするところ
 と心得てお引き受けした次
 第だ。

なお、内容の細部につい
 て、遠い記憶による誤認や生
 々しいところ、読みにくいと
 ころがあるかと存じますが、
 その点は、体験を通してお伝
 えしたい熱意の表れとして、
 お許しの上ご理解を頂きたい
 と思う。このようなことから
 私は、お引き受けした次第で
 ございます。

さて、いよいよ書き出すと
 なると、私は、細田のため
 に、そして業界のために、地
 域のために、小さくは家族の
 ために、一体何をしたらいいか？
 改めて振り返ってみると、
 内心忸怩たる思いだ。

次回(27日)
 (細田木材工業(株)会長)



細田 安治(ほそだ やすじ)

1933年(昭和8年)2月生まれ、静岡県浜松市出身、77歳。
 56年3月、明治大学政治経済学部経済学科卒業後、清水港(しみずみなど)合板(株)に修業のため入社。57年9月、細田木材工業(株)の子会社である細田商事(株)に入社。製材工場長、単板部長、特殊合板集成材部長ほかを経て74年、細田木材工業社長に就任。2008年、会長に就任し現在に至る。
 東京木材乾燥協同組合理事長、全国ツキ板連合会副会長、東京新木場木材商工協同組合理事長、日本集成材工業組合理事長ほかを歴任。08年秋、旭日小綬章受章。
 著書に細田家のルーツともいわれる清和源氏に関する『清和源氏の源流を訪ねて』(共著)がある。趣味は旅行、ウォーキング、読書、パソコン。